

文学部教育学学科 開設

子どもの心と向き合える教員や、
指導力豊かな生涯学習のリーダーを育成する教育学学科が
今年4月に誕生します。



教育学学科の特色

今、時代や環境の変化による影響を受けて変わっていく子どもたちに即応できる能力が求められています。が、それとともに、移り変わる相貌の背後にある変わらない子どもたちの姿を的確に見据えることのできる能力も必要とされています。このことは、本学の教育理念を具体化させる柱の一つ「役立つものと変わらないものと」に掲げられている両者の知性の育成に適うもので、本学科の目指す教員養成の中にも具現化されるものです。その双方の能力が相まって初めて柔軟な思考力や的確な総合的判断力が小学校教育及び特別支援教育の

中で活きたものになると考え、時代の変化に対応する現代的課題への取り組みや、多角的な視点からの人間理解のために、カリキュラムは配慮されています。このことは、生涯学習分野での指導者となるためにも必要な観点であると考えています。

以上の教育観に立ち、専門的知識分野としては教育学、教育心理学及び障害児教育学等を、実践的知見の分野としては教科教育内容、教科教育法、障害児指導法等を、本学科の中心的な学問分野とし、具体的には、次の3領域での教員あるいは指導者の養成を本学科の特色としています。

教育学学科の設置趣旨

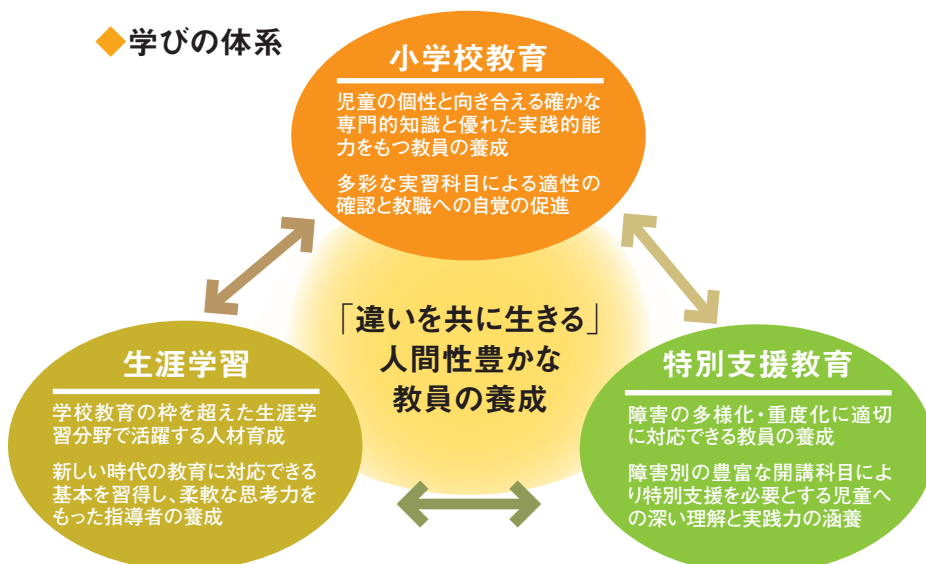
教育学学科は、本学の教育理念「違いを共に生きる」の更なる実現を目指し、小学校教員養成ならびに特別支援学校教員養成、加えて生涯学習分野での指導者養成を目的として開設されることになりました。文化的背景の異なる児童生徒、障害のある児童生徒と障害のない児童生徒等が、積極的に「違いを共に生きる」ことを可能にするよう導くために、確かな専門的知識とすぐれた実践的能力

をもつ人材の育成を図ろうとしています。

団塊の世代の教員の退職時期を迎え、かつ少人数教育の推進に伴い、義務教育段階の教員不足が深刻化しています。が、今まで愛知県内には私学の共学大学で小学校教員養成課程をもつ学科が存在しないことも教

育学科設置の理由でした。また、文学部に設置するのは、本学が文学部国文学科と英文学科の2学科からスタートした当初から、高い教職課程履修率を示してきた歴史があり、これらの学科を中心に多数の卒業生が教育界で活躍している実績を踏まえています。

◆学びの体系



1 小学校教員の養成

小学校教員資格取得が可能な教職課程をもつ本学科は、明確な教員への志望動機を実践における優れた指導力に高めていくために、カリキュラムに工夫を凝らしています。

幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い豊かな人間性を涵養するために、多様な選択が可能な教養科目を用意するとともに、教員の素養としての外国語やコンピュータ科目の履修を奨励していきます。特色ある専門科目と

2 特別支援学校教員の養成

障害児教育は特別支援教育へと転換しようとしており、障害種別を超えた特別支援学校での教育とともに、通常学級に在籍する障害のある児童についても教育的配慮がなされようとして

教育施設・設備のイメージ

音楽教室	図工室
理科実験室	



3 生涯学習分野で活躍する人材の育成

教員志望であるか否かにかかわらず、本学科では、教育という人への働きかけに対する深い洞察力和確かな実践力を培い、それを生涯学習の各分野で生かす人材の育成を目指します。ライフコースの各段階にある多様な個人の多様なニーズに発達促進的に応えることので

きる基礎理論を修得できるようにした上で、各自の適性に応じた専門的実践的能力の育成のために、他学部他学科開放科目履修制度や全学共通履修科目の積極的活用により、幅広い科目履修と人的交流の機会を多くもつことを奨励したいと考えています。

して、「学校教育体験」を1年次の必修科目とし、小学校における学校教育体験によつて適性を知り、将来目指す進路を確認できる機会をもてるようにしています。また、愛知県の地域的特性も考慮した「ポルトガル語」、教育現場に役立つ「教育と調査・統計」、時代の要請に応える「環境教育」や「性の健康」などを選択必修科目に配置し、実践的能力の基礎的素養を育んでいきます。その上に、小学校9教科の確かな指導

力を培い、教科に関する基礎的な科目の着実な修得を目指し、より深く教科を学ぶ動機付けを高めていく工夫をするとともに、4年次にはすべての教科の集大成の意味をもつ「総合表現」を開講します。

こうして実践的指導力の修得を目指し、子どもの発達可能性への深い理解と、子どもを取り巻く社会環境や歴史に広い視野をもつ人材を育てていきたいと考えています。

います。このような動向から、すべての教員に対して軽度発達障害をも含めた障害児への専門的な指導力が要求されています。本学科では小学校教諭免許を基礎資格として、特別支援学校教員を養成しますが、通常学級に在籍あるいは通級による指導を受けている障害のある児童等、さまざまな個性を持つ児童に対して専門知識に基づく適切な指導と配慮を行うことができる小学校教員を育成したいと考えています。

そのために、特別支援教育領域として、知的障害、肢体不自由、病弱の3教育領域の免許を目指していますが、それ以外の障害とされる重複・LD等、即ち、情緒障害、言語障害、重複障害およびLD・ADDH・高機能自閉症を含む軽度発達障害について、各障害の心理・生理・病理ならびに各障害の教育課程・指導法を開講し、さまざまな障害のある児童に対する実践的指導力を育成していくようとしています。

教

育の現場で活躍している卒業生たちによつて語られる生徒

たちとの交流の姿からも、教育は教員するものとされるものとの間の信頼関係を基盤として成立する営みであるとの思いを強くします。子どもたちが教師の指示に従ったり、言われたことを守ったりする理由としては、何よりも教師の人間の配慮が影響すると言われています。これは子どもたちの教師に寄せる信頼感を意味しており、信頼は子どもたちが教師から認められ、尊重されていると感じる過程から生まれてくるのだと思われま

「言

葉が通い合う教室は聴ける教師によつて生まれる」と

と言われます。よい聴き手を得て生き生きと話す経験によつて子どもは育っていきます。聴くことは話す力と心を育てる効果を持つと言えるでしょう。子どもたちの心に寄り添うとは子どもたちの声に、そして声にはならない声に耳を傾けることであると思われま

教

育学科が力を入れようとしている障害のある子どもたち

への理解と指導力を身につけることは、障害のない子どもたちのさまざまな個性にも対応できる力をもつことを意味します。教科指導の確かな実践的指導力をもつて、子どもと共に生き、共に学び、共に育っていくことのできる教師が巣立ってくれることを願っています。

学科長からのメッセージ



文学部教育学科 富安玲子教授

●お問い合わせと願書等の資料請求先●

愛知淑徳大学 企画室 入試広報部門

〒464-8671 名古屋千種区桜が丘23

TEL (052) 781-7084 (直通)

ホームページアドレス <http://www.aasa.ac.jp>

E-mail kouhou@asu.aasa.ac.jp